

2020年3月期 第3四半期決算の概況



2020年1月28日(火)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

連結決算の概況

公募の投資信託は大幅に資金流出

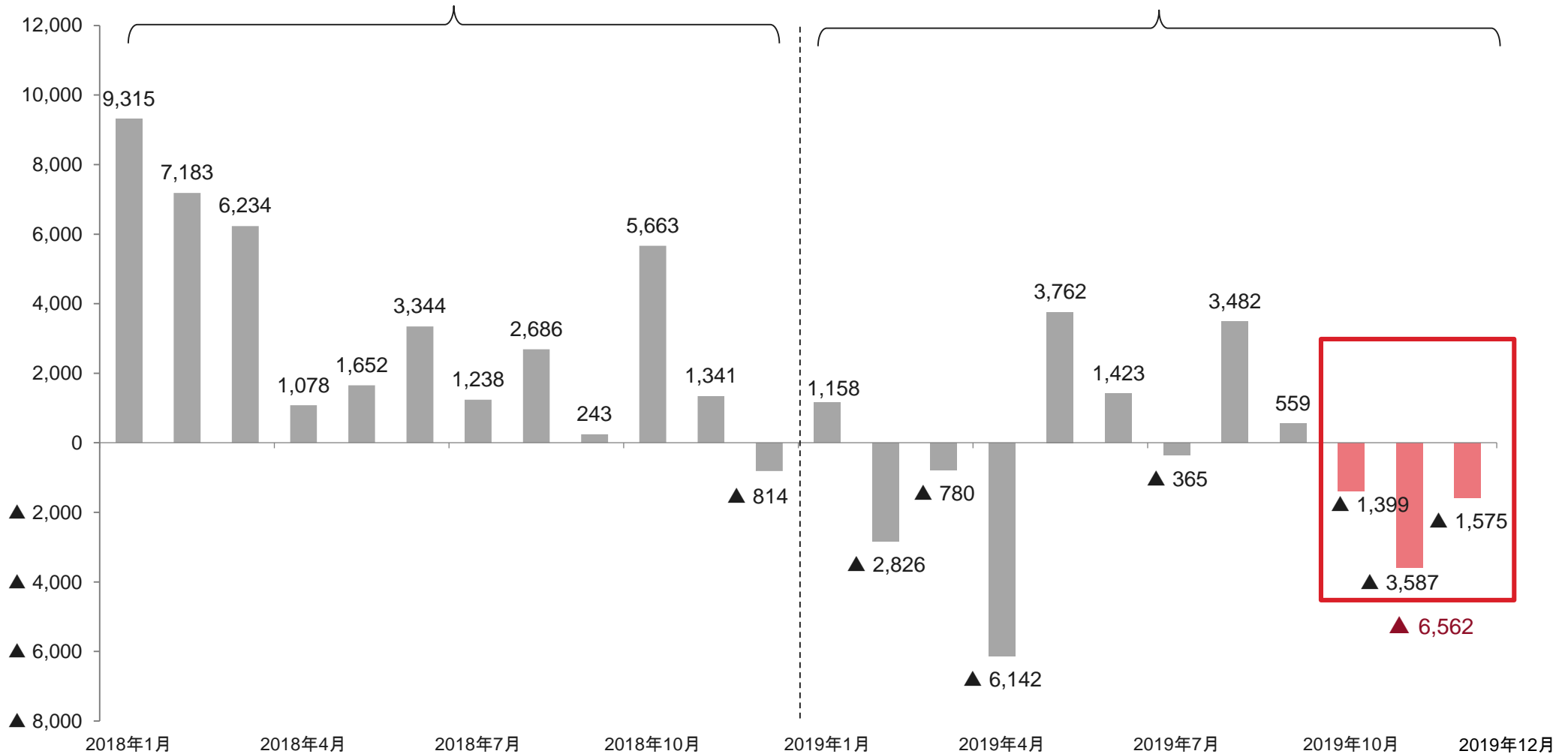
国内公募追加型株式投信の純資金流入額の推移

<2018年1-12月>
+3兆9,163億円

<2019年1-12月>
-6,291億円



(単位: 億円)



※投資信託協会のデータより、モーニングスター作成
公募追加型株式投資信託(ETF除く)を対象

連結業績

売上高は8期連続の増収、経常利益は11期連続の増益

(単位:千円)

	2019年3月期 第3四半期 (2018年4月～12月)	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月～12月)	増減率 (%)
売上高	4,615,089	4,931,171	6.8
営業利益	1,294,067	1,160,331	- 10.3
経常利益	1,397,022	1,398,522	0.1
当期利益	962,756	953,607	- 1.0

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

セグメント別の業績

＜ファイナンシャルサービス＞：モーニングスター、ゴメス・コンサルティング事業 等

＜アセットマネジメント＞：SBIアセットマネジメント、Carret Asset Management 等

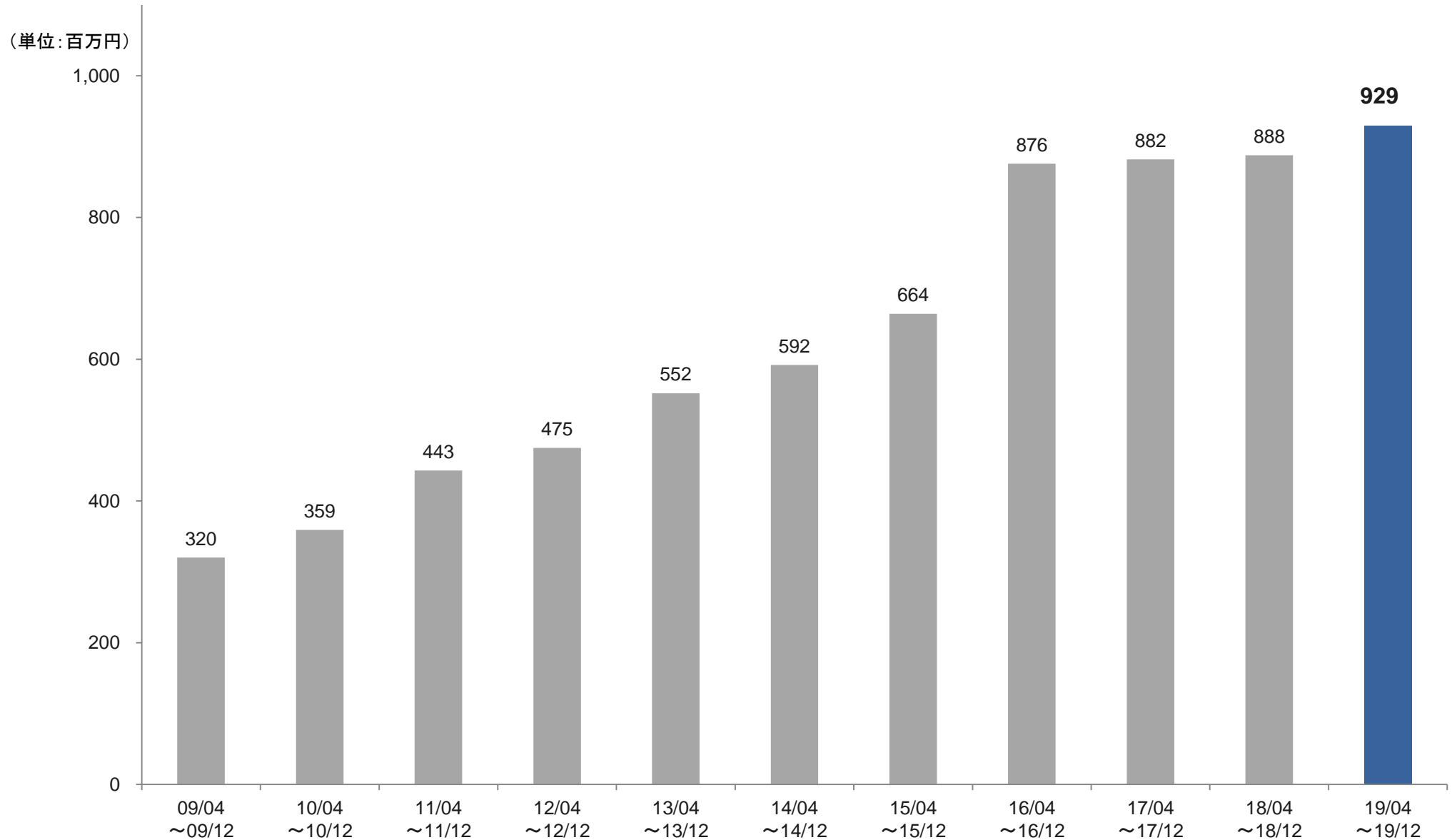
(単位:千円)

売上	2019年3月期 第3四半期 (2018年4月～12月)		2020年3月期第3四半期 (2019年4月～12月)		増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
ファイナンシャルサービス	2,045,920	44.1	2,216,103	44.7	8.3
アセットマネジメント	2,588,290	55.9	2,738,994	55.3	5.8
合計	4,615,089	100.0	4,931,171	100.0	6.8

営業利益	2019年3月期第3四半期 (2018年4月～12月)		2020年3月期第3四半期 (2019年4月～12月)		増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
ファイナンシャルサービス	829,269	64.1	846,827	73.0	2.1
アセットマネジメント	464,797	35.9	313,503	27.0	-32.6
合計	1,294,067	100.0	1,160,331	100.0	-10.3

モーニングスター単体の経常利益の推移

10期連続の増益、9期連続の最高益を更新

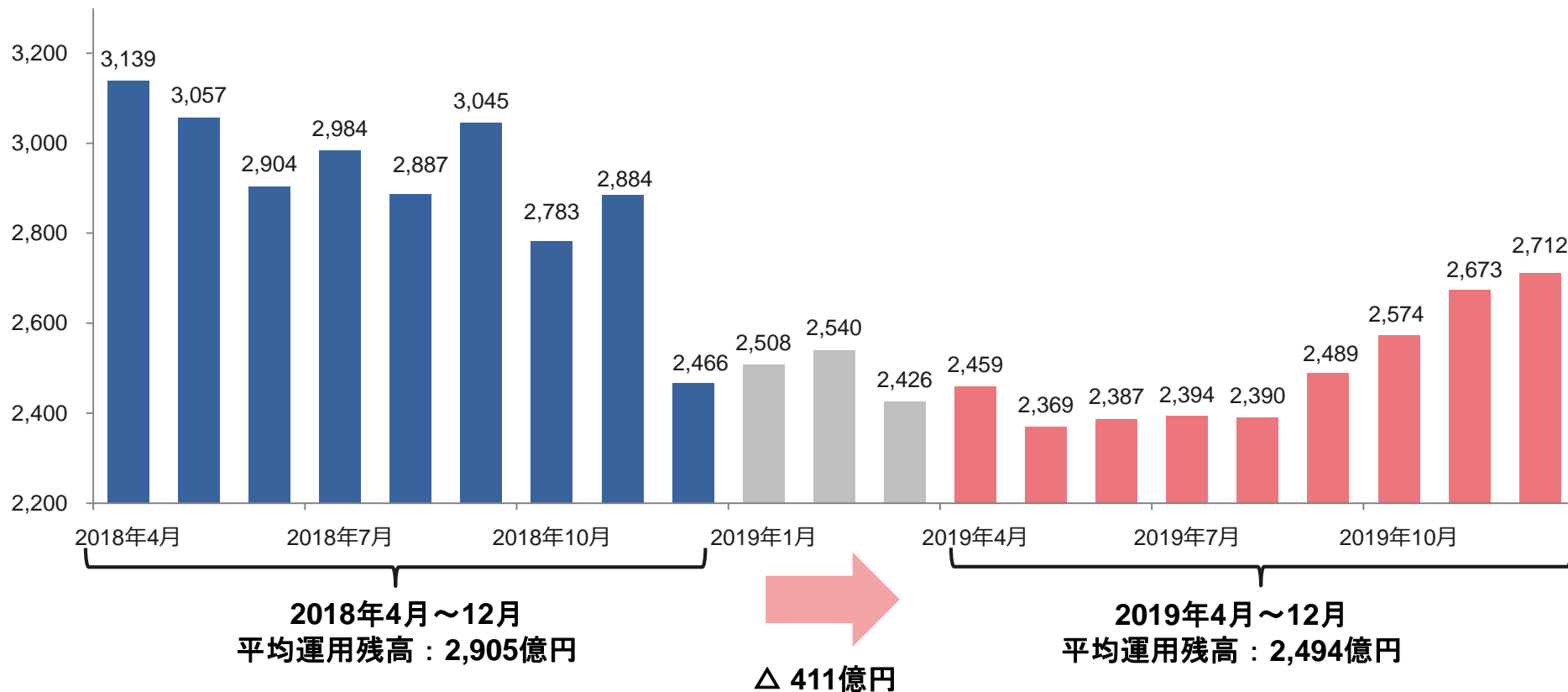


子会社 SBIアセットマネジメントの業績

(単位:千円)

	2019年3月期 第3四半期 (2018年4月～12月)	2020年3月期第3四半期 (2019年4月～12月)	増減率 (%)
売上高	2,576,743	1,917,700	-25.6
営業利益	456,579	304,364	-33.3

(単位:億円)



※データ期間:2018年4月～2019年12月

主なサービス別の売上高の増減

(単位:千円)

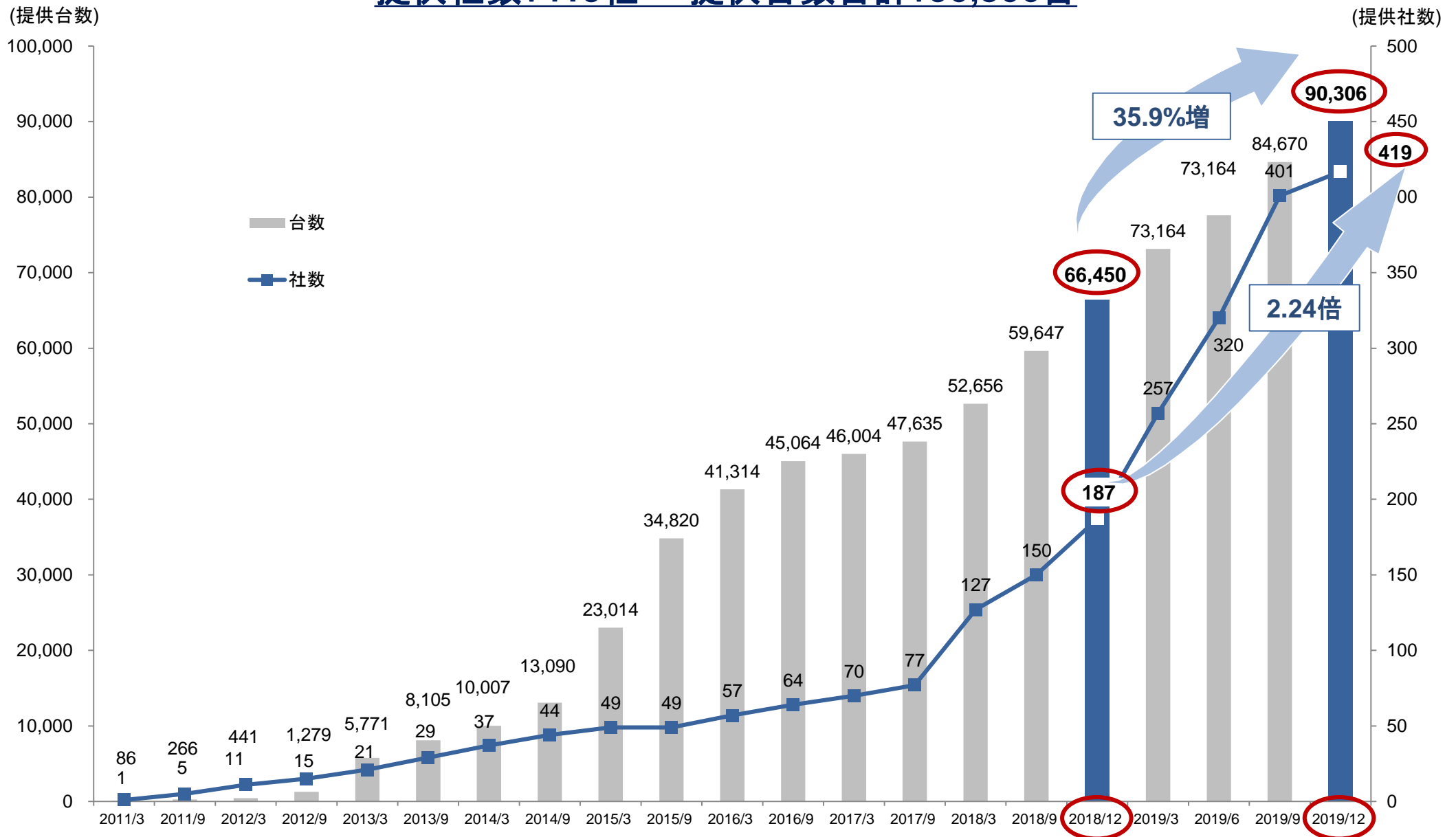
セグメント	サービス名称	2019年3月期 第3四半期 (2018年4月～12月)	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月～12月)	増減率
データ・ソリューション	ファンドデータ (タブレット端末向けのデータ)	275,653	355,826	29.1%
	(スマートフォン、PC向けのデータ)	346,483	455,245	31.4%
	(ロボアド含む資産運用ツール)	73,400	71,715	△2.3%
	合計	695,537	882,786	26.9%
	ファンド・レポート	167,769	150,918	△10.0%
	株式新聞購読料			
	(新聞)	156,977	138,139	△12.0%
(Web版)	25,204	27,517	9.2%	
合計	182,181	165,656	△9.1%	
メディア・ソリューション	メディア・ソリューション (ウェブ広告&セミナー)	578,933	526,291	△9.1%
	Webコンサルティング (ゴメス・コンサルティング事業)	184,307	259,671	40.9%
アセット・マネジメント	運用受託報酬 (SBIアセットマネジメント)	2,576,743	1,917,700	△25.6%
	運用受託報酬 (Carret Asset Manegement)	-	809,744	-

Part 2

ファイナンシャルサービス事業の概要

拡大するタブレットアプリの提供社数及び提供台数

提供社数: 419社 提供台数合計: 90,306台



進化するタブレットアプリ「Wealth Advisors」

販売員は、豊富なデータとツールの活用により、お客様に的確な投資アドバイスを提供

投資信託

●ファンド詳細情報



●リスク・リターン分析



●各種シミュレーション



保険

●保険の選択



●意向確認



●概要書による比較



NISA・iDeCo

●NISA節税シミュレーション



●iDeCo加入者診断



●iDeCo節税シミュレーション



相続

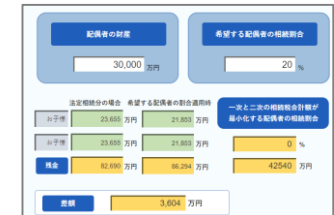
●相続税シミュレーション



●保険料控除

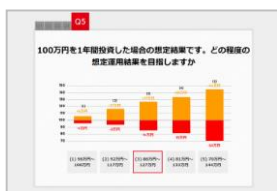


●二次相続のソリューション



ロボアド

●リスク許容度診断



●ポートフォリオ診断



●リバランス提案



ライフプラン

●シミュレーション



●ライフプラン表



●キャッシュフロー表



「Wealth Advisors」導入の金融機関に カスタマイズしたサポートサービスを提供

各社個別対応の現地研修

販売員の利用ログを分析し、レベル別に現地研修



1. 詳細型ファンドが顧客を惹きつけるおきまへ向けられた機能
より多くの顧客へ届く＝後発型ファンドへの投資

2. 顧客のニーズを把握し、適切な商品やサービスを提供する

3. 顧客のニーズを把握し、適切な商品やサービスを提供する

思考

減らしたくない
潜在
意識
増やしたい

今こそ、お客様の潜在的なニーズを顕在化する必要がある。二一式喚起とは・・・潜在意識を顕在意識に変化させること。減らさないための資産運用の提案が必要!

遠隔研修(リアルタイム動画接続)

遠隔地域や支店毎の研修はリアルタイム動画を活用



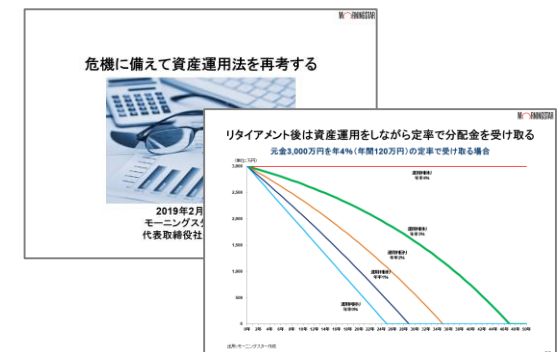
ゲーム形式による販売員研修(ポートフォリオゲーム)

仮想のお金で実際にポートフォリオを組んで運用する体験型研修



販売員向けのセミナー

販売員のモチベーションアップ研修も提供



「Wealth Advisors」は運用会社と販売会社を繋ぐツールへ

運用会社は独自のレポートや動画を「Wealth Advisors」を通じて提供



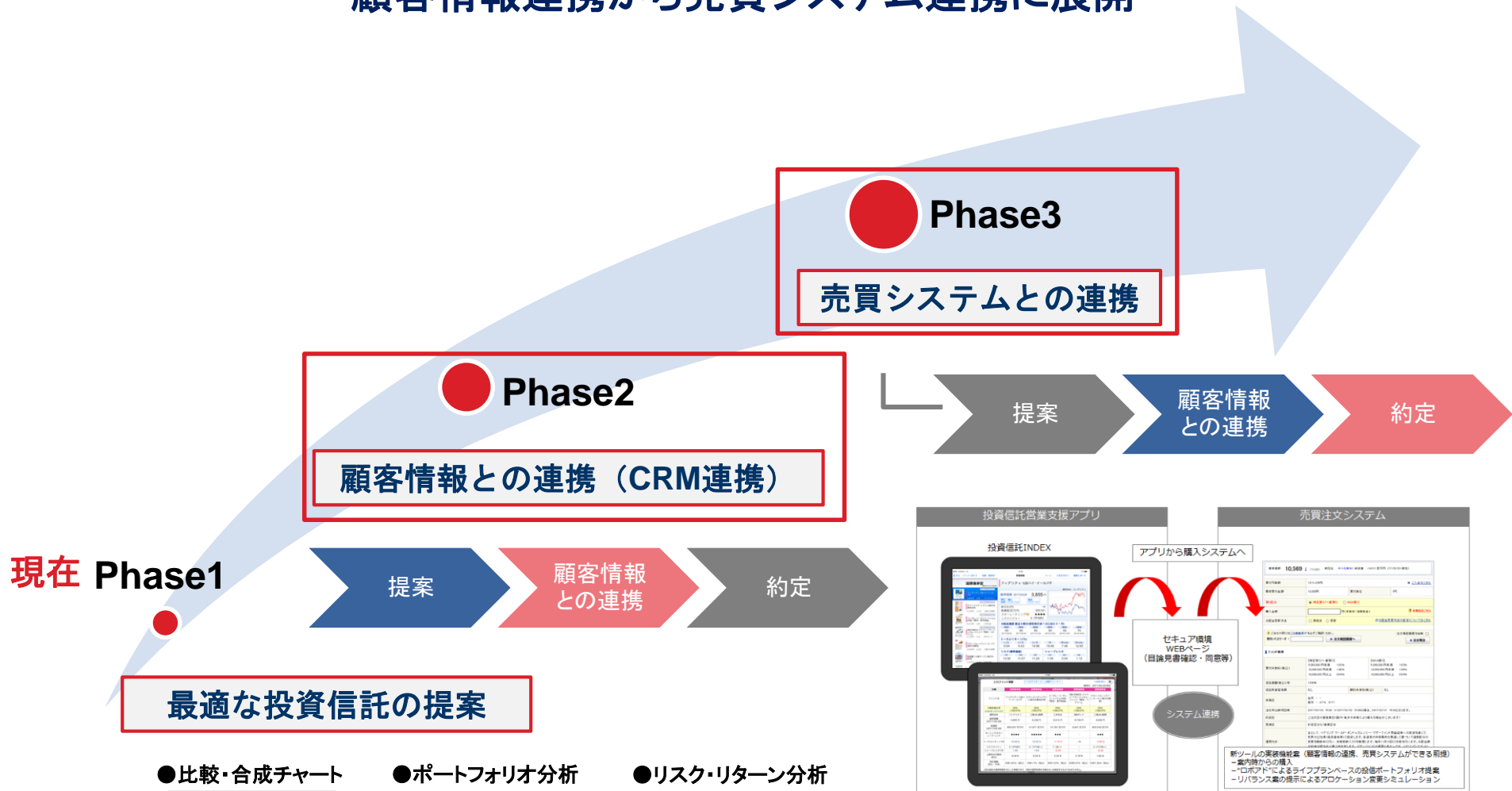
運用会社

Wealth Advisors



販売会社（銀行、証券など）

「Wealth Advisors」は更に進化を遂げ、 資産運用アドバイスの「プラットフォーム」へ 顧客情報連携から売買システム連携に展開



● 比較・合成チャート



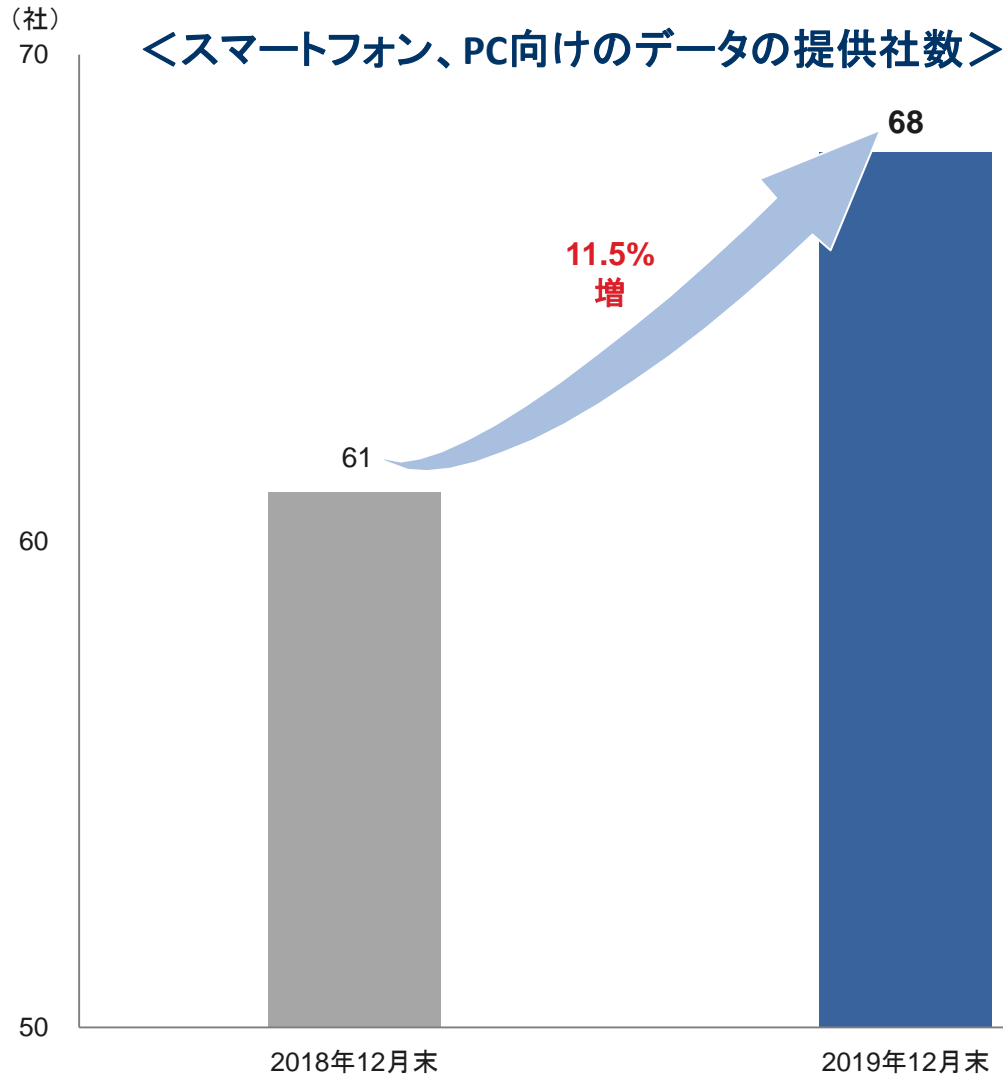
● ポートフォリオ分析



● リスク・リターン分析



スマートフォン、PC向けのデータの提供社数は二桁の増加



三菱UFJ銀行(銀行)



岩井コスモ証券(証券会社)

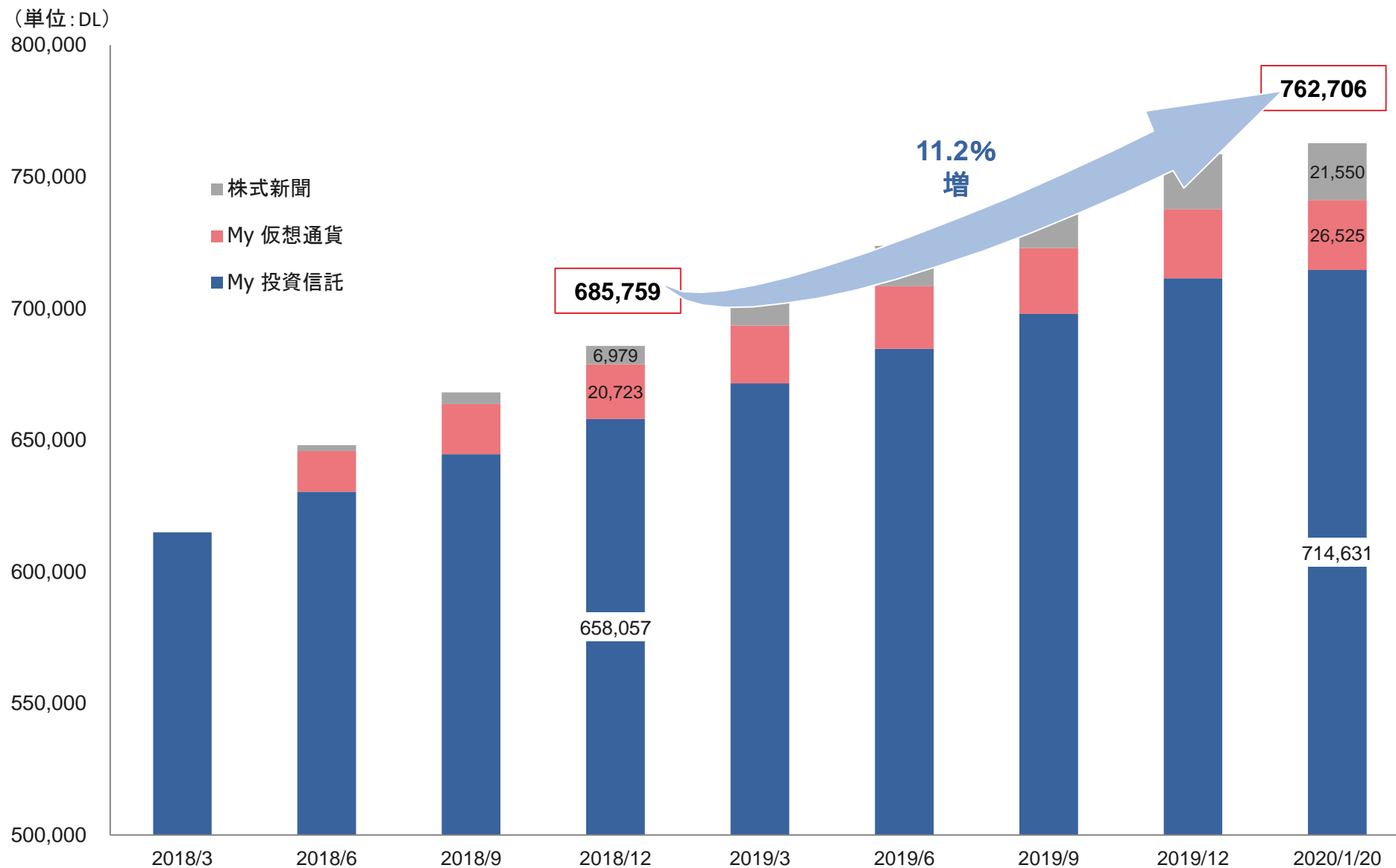


りそなアセットマネジメント(運用会社)



スマートフォンアプリのダウンロード数

＜スマートフォンアプリのダウンロード数の推移＞



※ 2020年1月20日時点

継続的な機能強化を図るスマートフォンアプリ

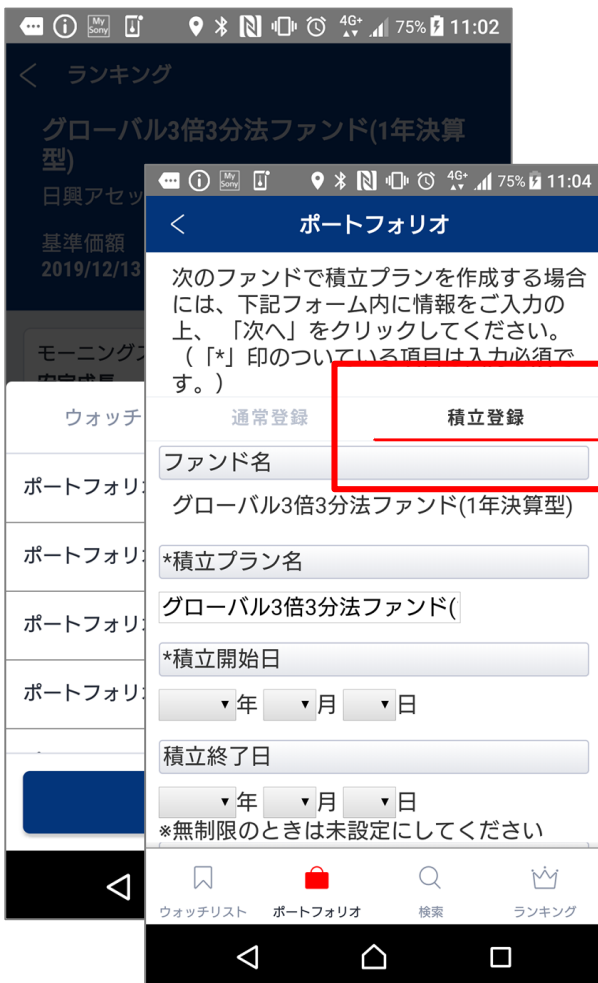
<My投資信託>

- ・ファンドのポートフォリオへの積立登録機能の追加
- ・ファンド学習コンテンツの拡充

<株式新聞>

- ・米国、香港の個別銘柄詳細ページを開発
(2020年3月リリース予定)

ファンドの積立登録機能の追加



ファンド学習コンテンツの追加



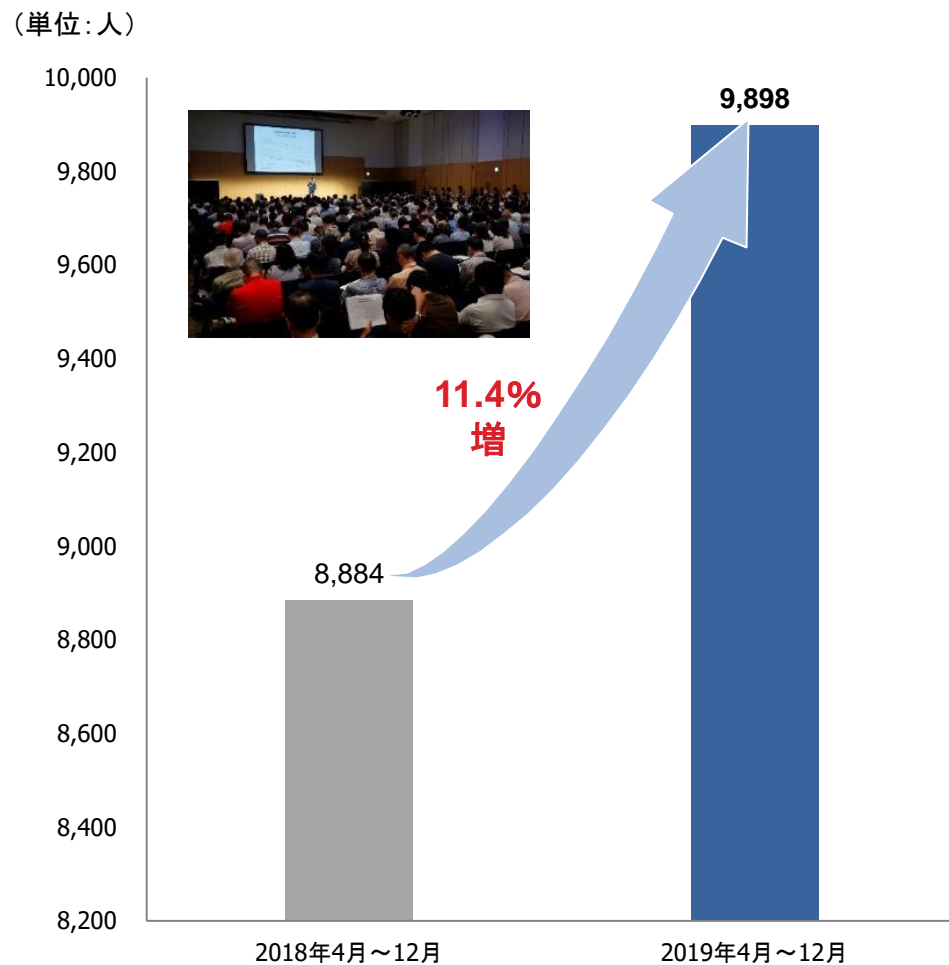
米国・香港株式情報の追加



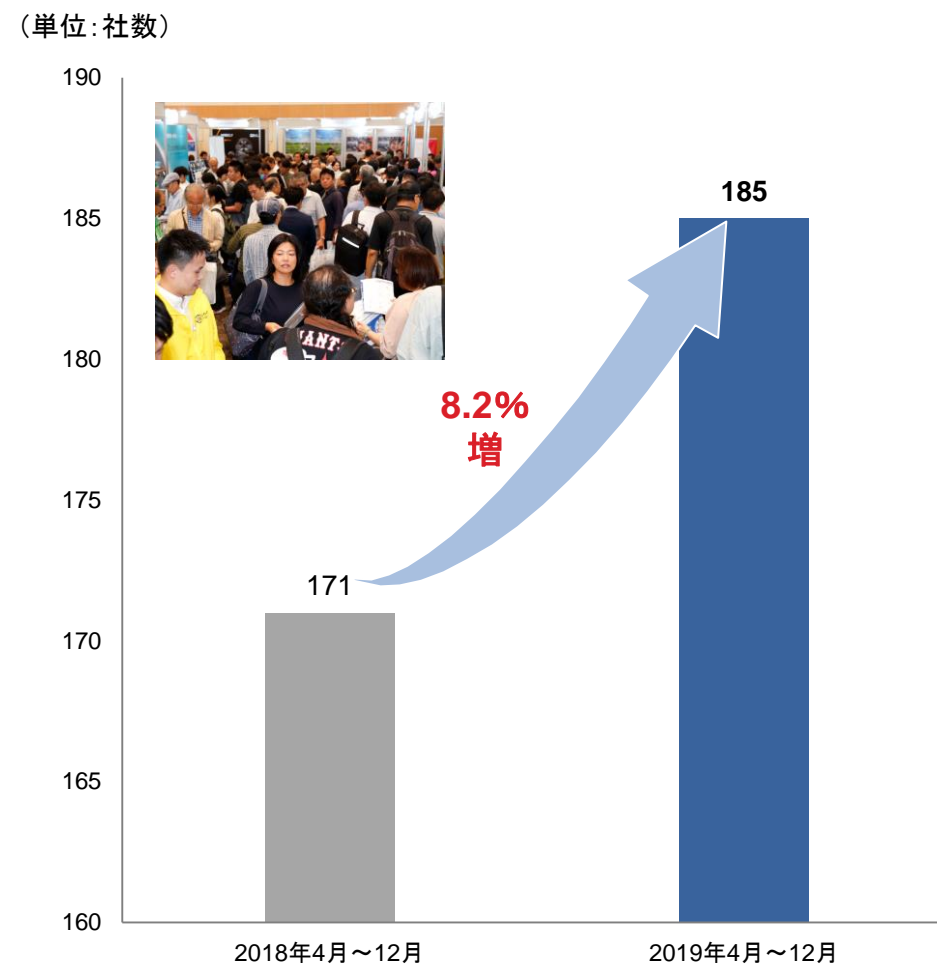
※画面は開発中のもの

「資産運用セミナー」の参加者数、協賛企業数ともに増加

<参加者数>



<協賛企業数>



大手金融機関と共催の大規模「資産運用セミナー」の実施

三井住友フィナンシャルグループ

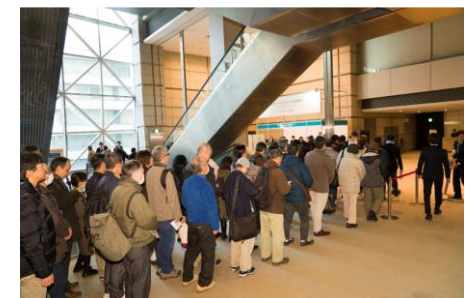
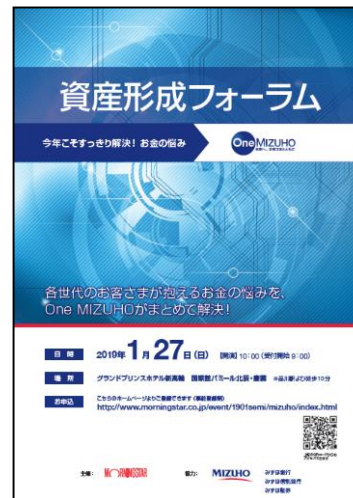
日時: 2018年12月8日(土)
 会場: 東京国際フォーラム
 協賛数: **19社**(**投信: 13社**・**保険6社**)
 参加者数: **1,572名**

MIZUHO みずほフィナンシャルグループ

日時: 2019年1月27日(土)
 会場: グランドプリンス新高輪
 協賛数: **32社**(**投信: 17社**・**保険15社**)
 参加者数: **1,975名**

三井住友信託銀行 SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

日時: 2019年12月14日(土)
 会場: 国際フォーラム
 協賛数: **19社**(**投信9社**・**保険10社**)
 参加者数: **1,109名**



地方銀行と共催の「資産運用セミナー」の実施

<福岡>



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

【2019年3月3日(日):福岡】

- ・開催場所: FFGホール
- ・来場者: **483名**
- ・協賛数: 19社

<参加者の声>

「年に1回ではなく、2回程度開催して欲しい。」

<千葉>



ちばぎん
ちばぎん証券

【2019年3月30日(土):幕張】

- ・開催場所: ホテル ザ・マンハッタン
- ・来場者: **407名**
- ・協賛数: 11社

<参加者の声>

「今回のように千葉県内開催希望！！」

<北海道>



北洋銀行
北洋証券

【2019年5月19日(日):札幌】

- ・開催場所: 札幌グランドホテル
- ・来場者: **604名**
- ・協賛数: 14社

<参加者の声>

「出来ることであれば年に2-3回位はしてほしいです。」

<栃木>



足利銀行

【2019年6月2日(日):栃木】

- ・開催場所: ホテル東日本宇都宮
- ・来場者: **370名**
- ・協賛数: 10社

<参加者の声>

「いつも、このような会には参加しない主人が、一緒に参加してくれました。」

<長崎>



親和銀行
18bank 十八銀行

【2019年6月23日(日):長崎】

- ・開催場所: ザ マーカスクエア 長崎
- ・来場者: **528名**
- ・協賛数: 19社

<参加者の声>

「長崎での貴重な機会に感謝致します。」

<熊本>



熊本銀行

【2019年8月18日(日):熊本】

- ・開催場所: ホテル日航熊本
- ・来場者: **181名**
- ・協賛数: 20社

<参加者の声>

「普段熊本ではこのような各種運用会社が集まった場が少なく、貴重な機会と思う。」

<横浜>



横浜銀行
浜銀TT証券

【2019年11月24日(日):横浜】

- ・開催場所: 新横浜プリンスホテル
- ・来場者: **503名**
- ・協賛数: 7社

<参加者の声>

「横浜会場を希望、毎年継続してほしい」

<新潟>



第四銀行
北越銀行
第四北越証券

【2020年1月13日(祝・月)】

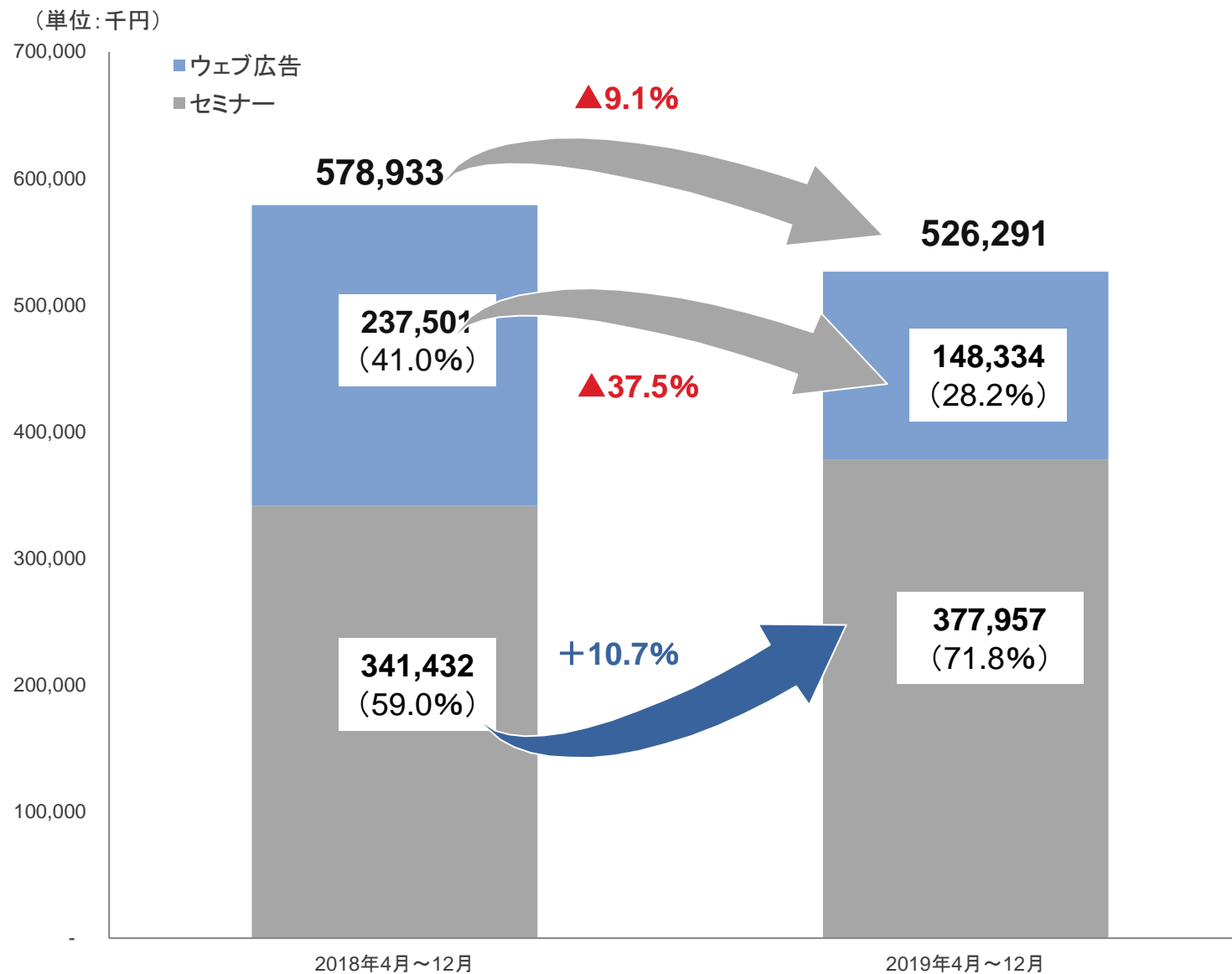
- ・開催場所: 朱鷺メッセ
- ・来場者: **404名**
- ・協賛数: 6社

<参加者の声>

「お金取っても良いので、ぜひまたやって欲しい」

「資産運用セミナー」のスポンサー収入は二桁の伸び

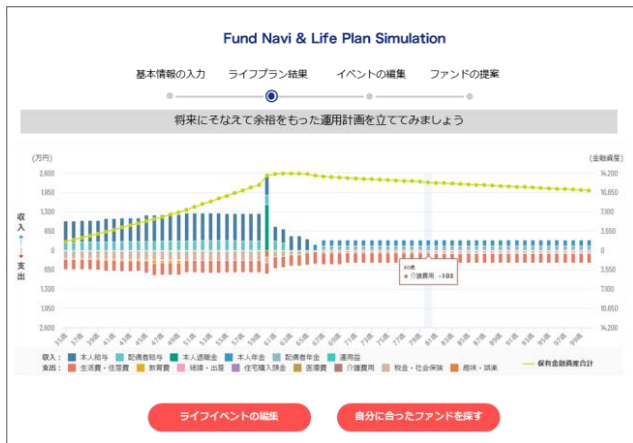
＜メディア・ソリューションの売上構成＞



ゴメス・コンサルティングは金融機関向けウェブ開発サービスを拡充

人生100年時代のニーズの高まりと老後2000万円問題を契機に
ウェブ上のシミュレーション開発依頼が増加

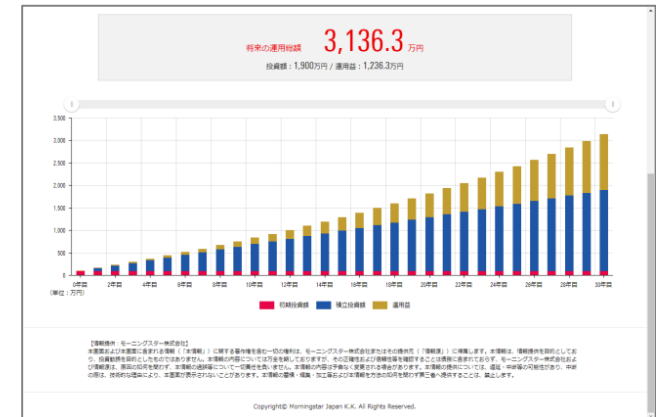
ライフプランシミュレーション



相続・贈与シミュレーション



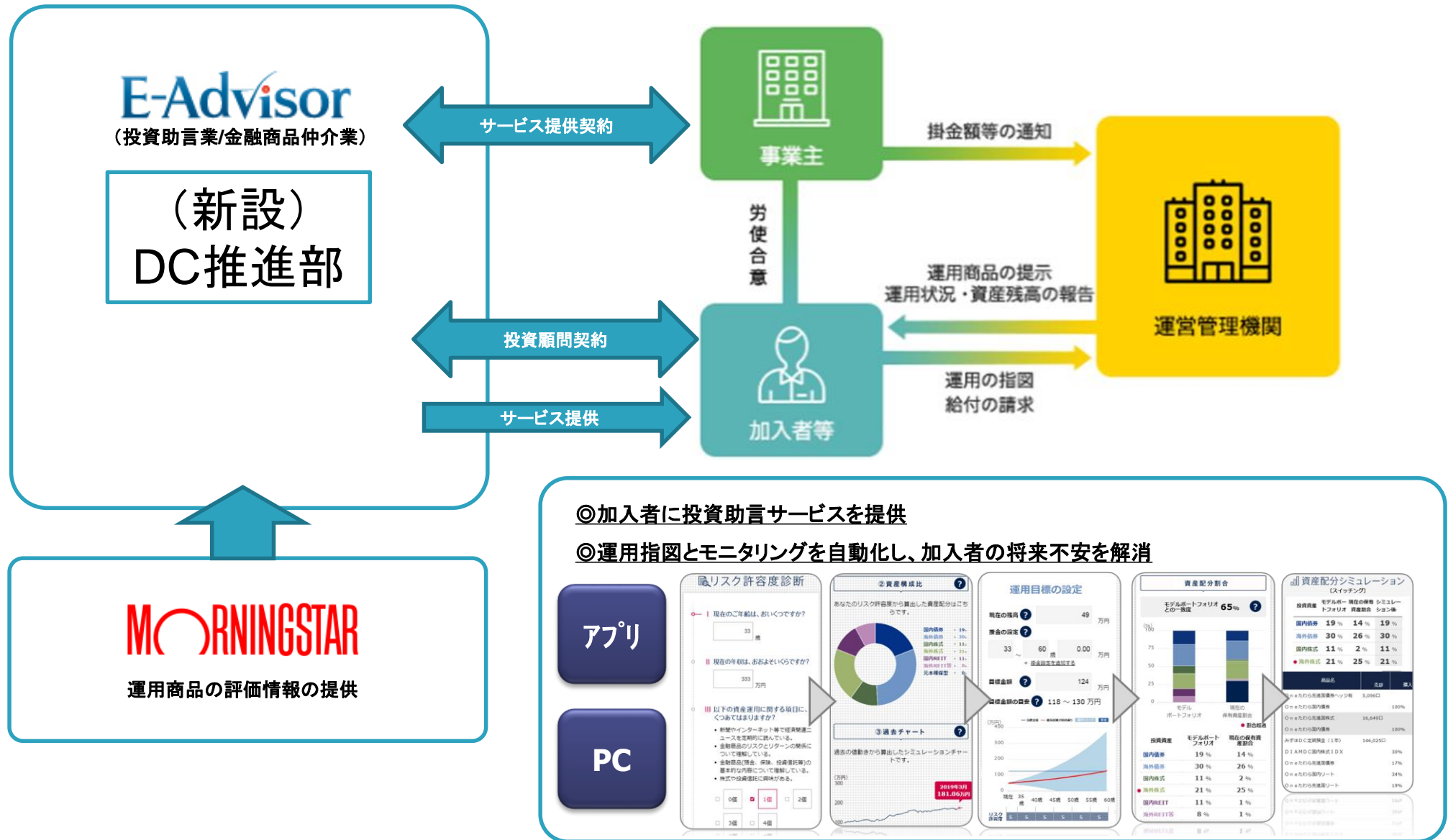
金融電卓



金融機関のホームページ、インターネットバンキング、オンライントレード等の各画面に提供

企業型確定拠出年金向けの投資助言サービスの提供開始

DC推進部を新設し、確定拠出年金採用企業へのアプローチを強化

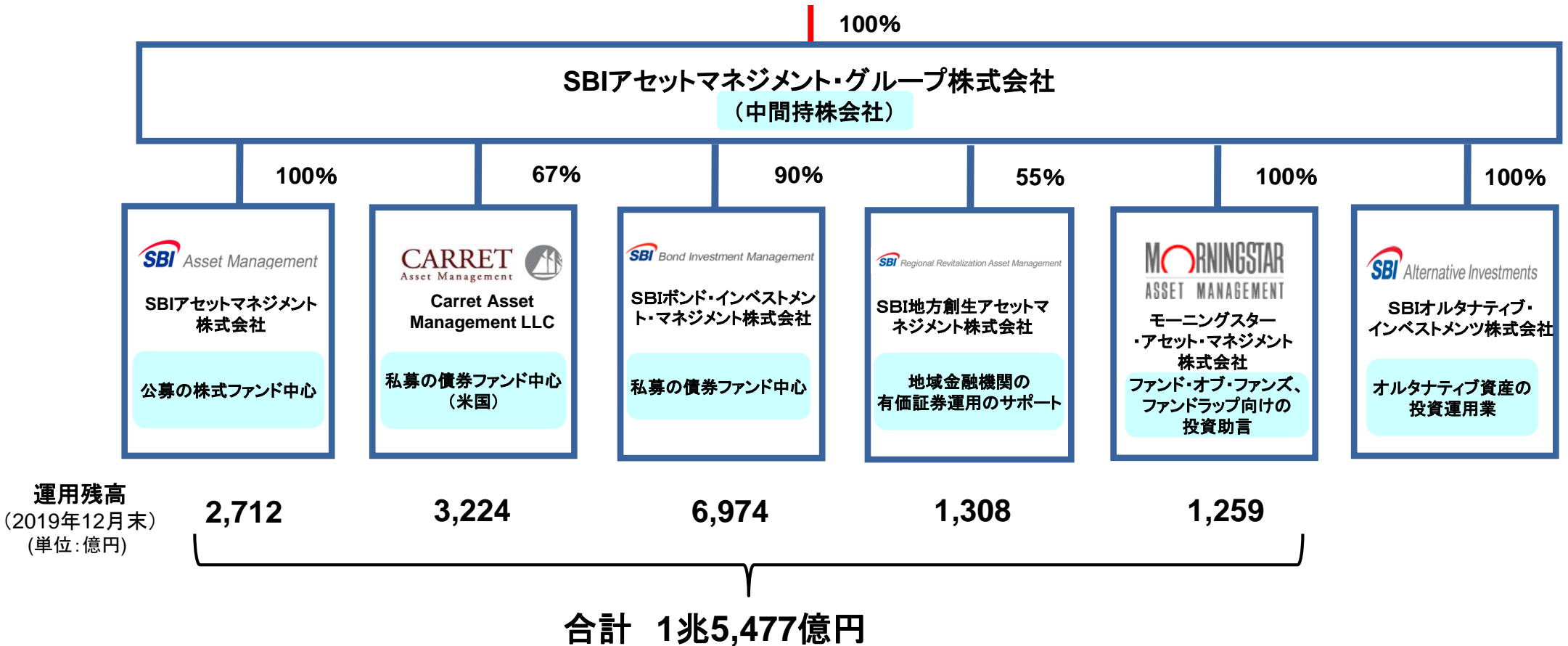


Part 3

アセットマネジメント事業の概要

アセットマネジメント事業の体制図

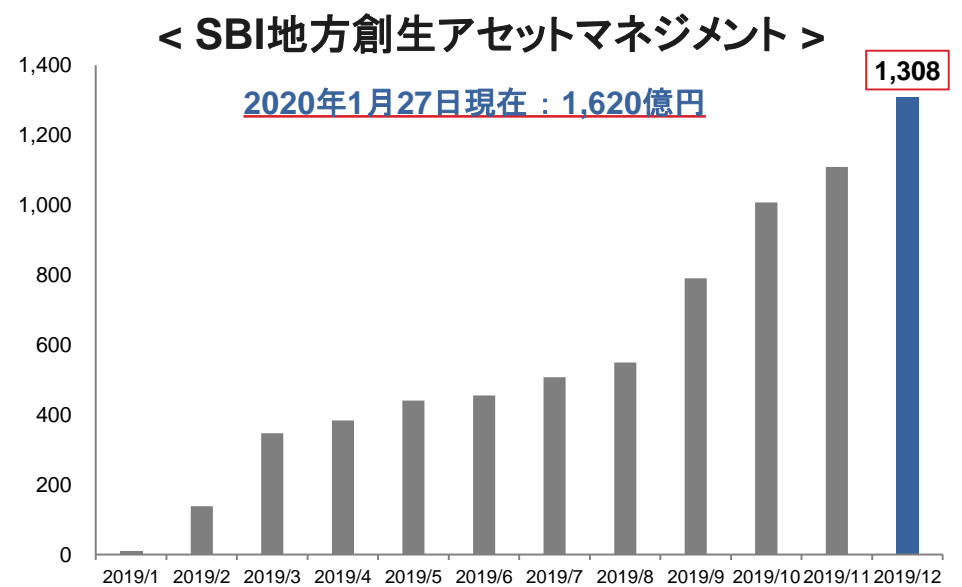
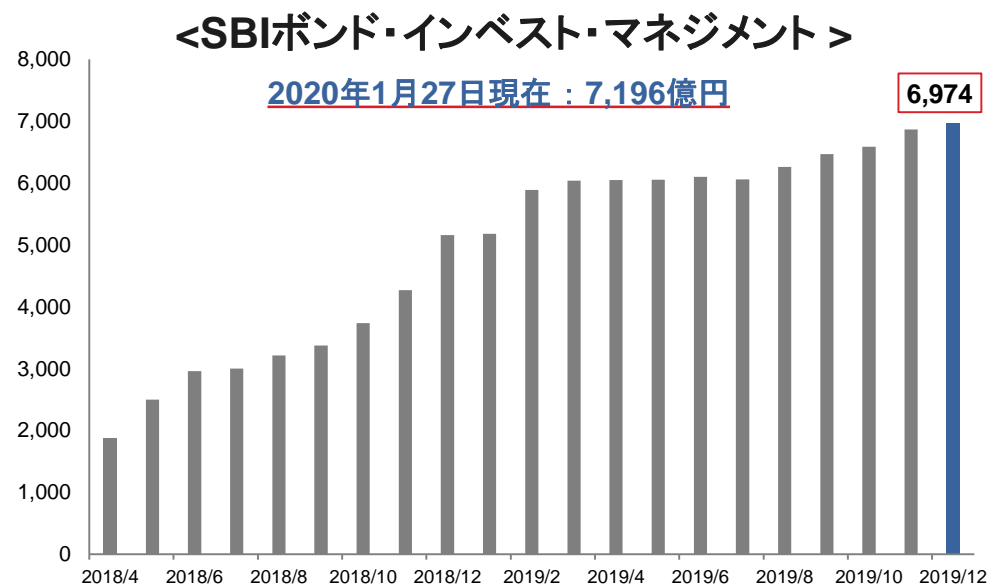
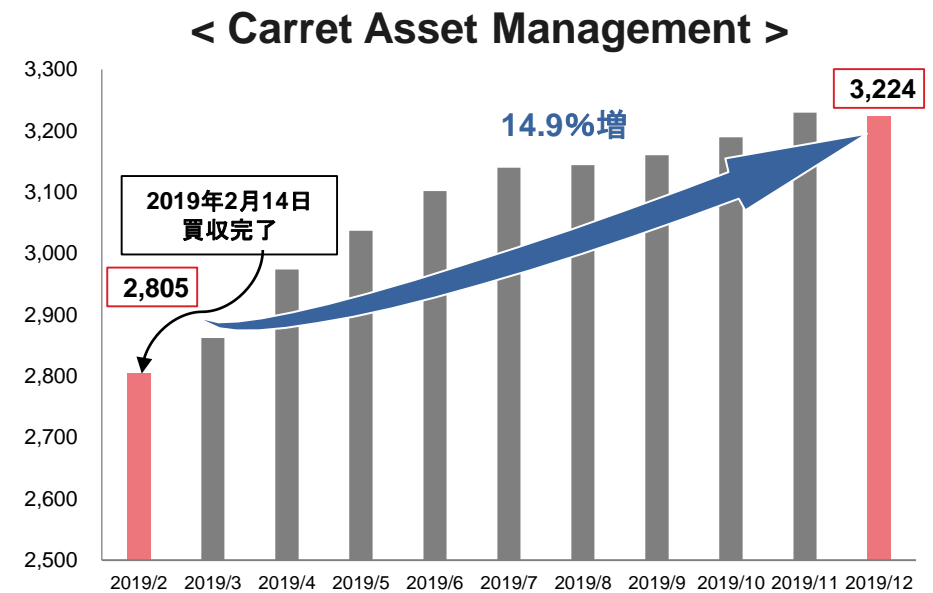
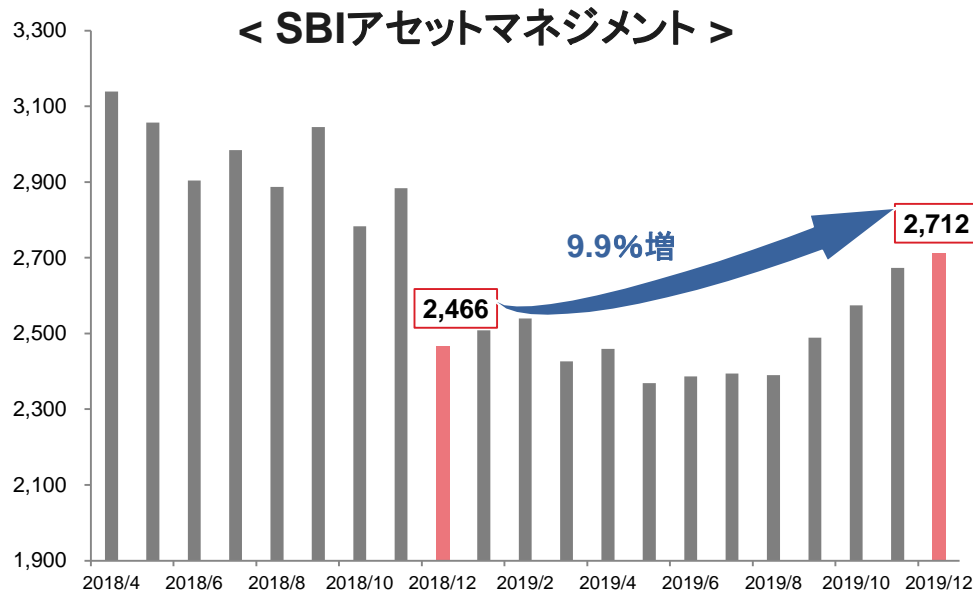
2019年12月末の運用残高(運用助言残高を含む) : 1兆5,477億円



※ Carret Asset Management の運用残高は、2019年12月：1ドル=108.7円で換算(12月末時点)、三菱UFJ銀行公表のTTM

グループ全体の運用残高の推移

(単位: 億円)



※ Carret Asset Management の運用残高は2019年2月~9月: 1ドル=107.92円で換算(9月末時点)、2019年10月: 1ドル=108.88円で換算(10月末時点)、2019年11月: 1ドル=108.88円で換算(11月末時点)、2019年12月: 1ドル=108.7円で換算(12月末時点)三菱UFJ銀行公表のTTM

世界有数の運用会社との提携

良質な運用商品とリスク管理の提供

 SBI Bond Investment Management

<SBIボンド・インベスト・マネジメント>

&

P I M C O

<ピムコ社と合併会社設立>

- 債券運用におけるパイオニア的存在で、運用残高は世界最大級の約203兆円(2019年9月末)
- グローバル・アドバイザー・ボードメンバーに、元FRB議長のバーナンキ氏、元ECB総裁のトリシェ氏、元英国財務大臣のブラウン氏等

 SBI Asset Management

<SBIアセットマネジメント>

&



Vanguard

<バンガード社と共同商品設定>

「SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド」

- インデックス・ファンドの世界シェアNo.1、1976年に世界で初めて個人投資家向けのインデックス・ファンドを米国で設定
- 運用残高(2019年11月末現在)は6兆米ドル(約650兆円)で世界最大級の運用会社

 SBI Regional Revitalization Asset Management

<SBI地方創生アセットマネジメント>

&

BlackRock Solutions®

aladdin

<ブラックロック社のポートフォリオリスクの管理ツールを活用>

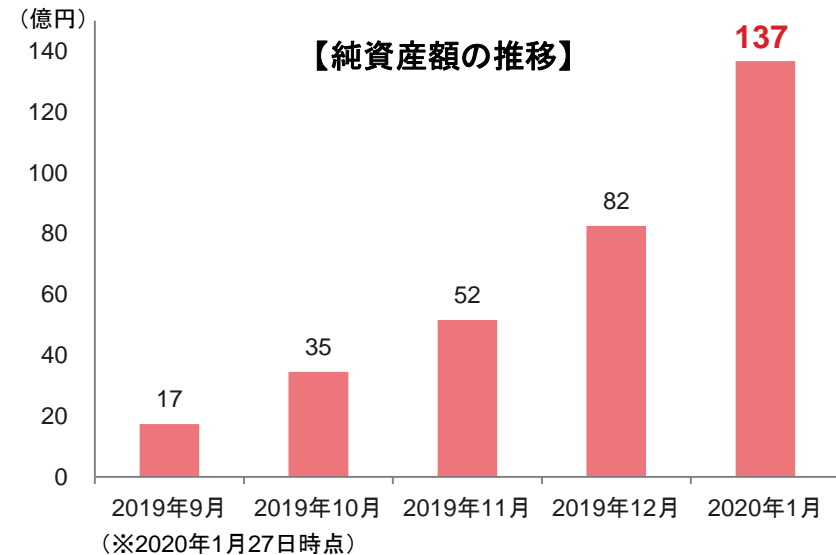
- 世界最大の資産運用会社である米ブラックロック社が、自社の運用・リスク管理に用いているテクノロジー・プラットフォーム
- 年金基金、保険会社、運用会社、銀行などの機関投資家を中心に、世界で250社以上の外部顧客に同様のプラットフォームを提供

急速に残高を伸ばす 「SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド」

設定から約3カ月半(1月9日時点)で 純資産総額 100億円 を突破

純資産残高：137.2億円(2020年1月27日現在)

信託報酬率(税込)：0.0938%



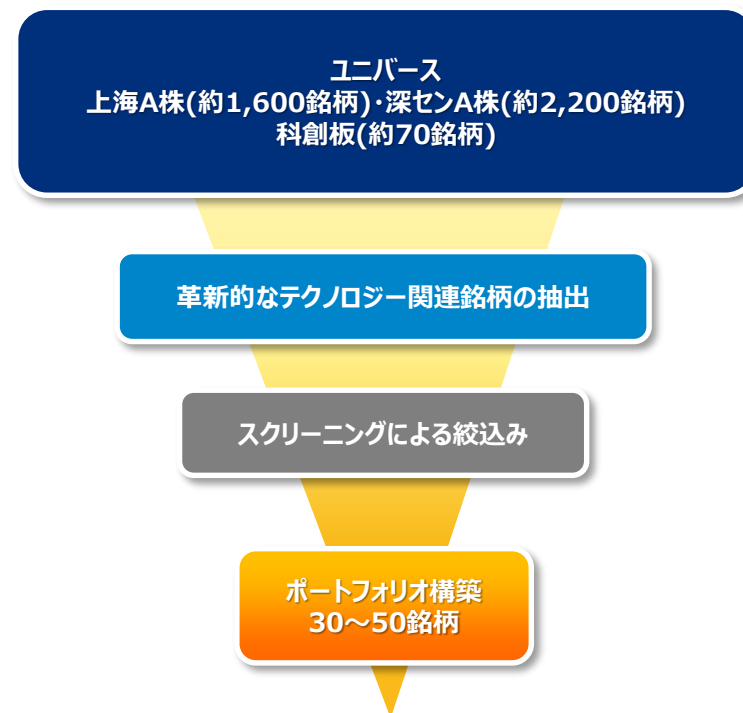
<SBI証券投資信託ランキング>

販売金額 期間：2020/1/6 ~ 2020/1/10

1位	SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド
2位	<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国株式インデックスファンド
3位	ニッセイ日経225インデックスファンド

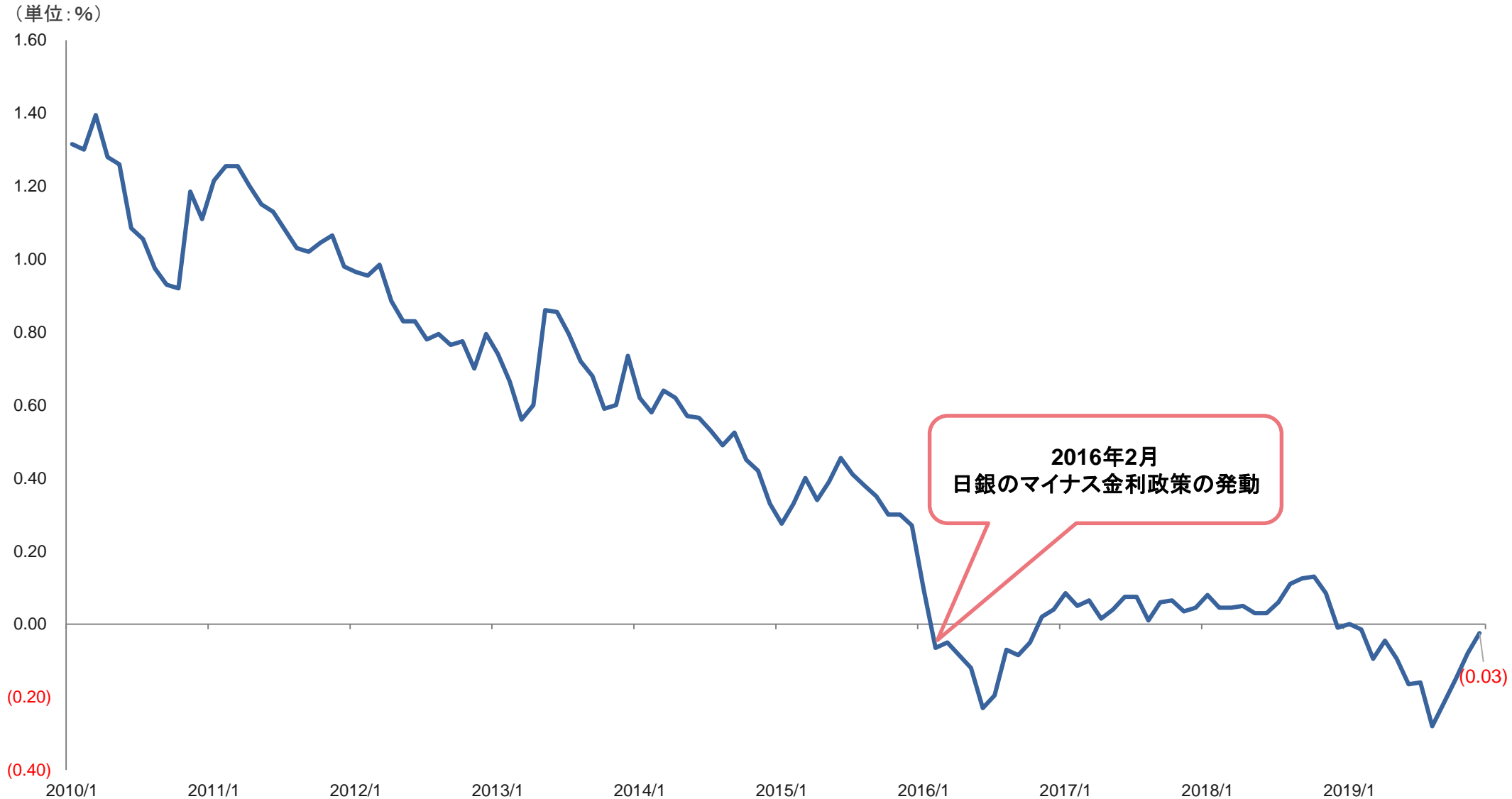
中国A株に投資できるQFII(適格海外機関投資家)の資格を取得し、国内投信設定へ(2020年3月下旬設定予定)

- 主な市場 : 上海証券取引所、深セン証券取引所及び科創板
- 主な投資対象 : A株
- 投資テーマ : 革新的なテクノロジーを有する企業
(AI、フィンテック、ブロックチェーン、ロボティクス等)
- 投資プロセス



地域金融機関のバラ色の運用環境は終焉を迎える

日本国債10年利回りの推移



※期間: 2010年1月~2019年12月(月次)

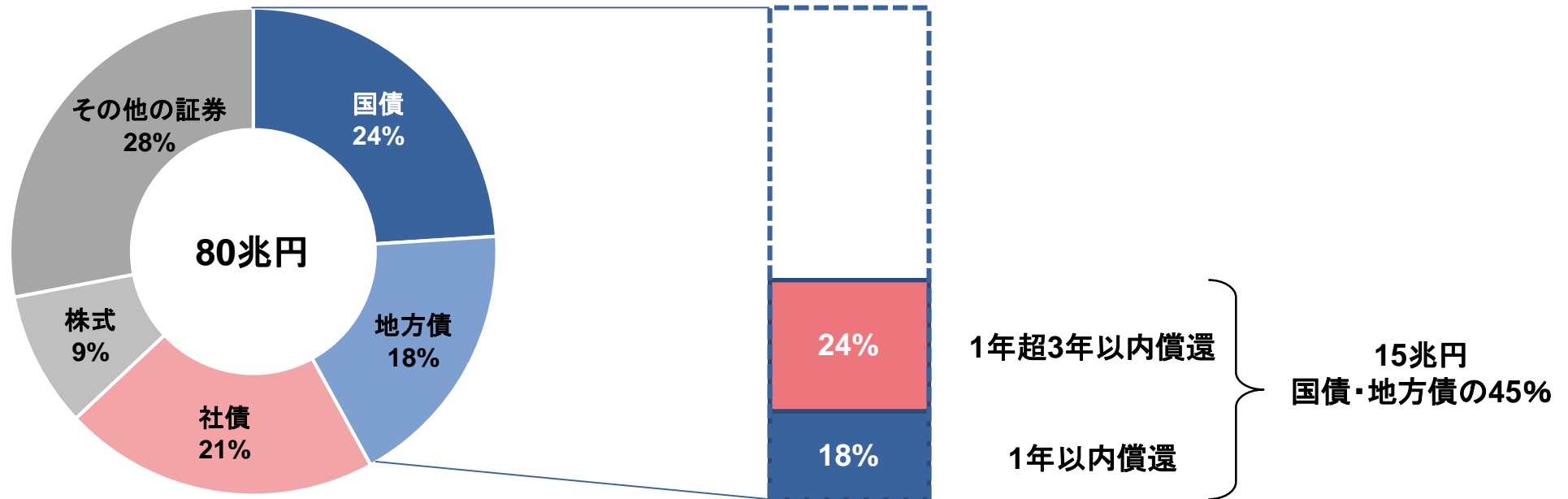
出所: モーニングスター作成

地域金融機関の有価証券運用の課題

- ✓ 国債の償還や政策株の売却が進む中、売却資金の新たな投資先が見つからず、有価証券の残高と収益力が大幅に減少。
- ✓ 保有する国債・地方債の45%が今後3年以内に償還を迎える。
- ✓ 新規の円債購入ではコア業務純益への貢献が期待できない。

地方銀行の有価証券保有状況
(2019年3月末)


国債・地方債 33兆円



出所: 令和元年9月13日 金融庁 地域金融機関の現状と課題についてより、モーニングスター作成

地域金融機関の有価証券運用の課題と当社グループの対応

- 1) 短期のトレーディング収益の獲得のみならず、中長期で安定した収益を獲得する運用ポートフォリオを構築する。


 ⇒

- ・ 合併会社のパートナーで世界に27拠点をもつモーニングスターのグローバルなネットワークを活用し、適切な運用ポートフォリオのアドバイスを提供。
- ・ 世界最大の債券運用会社であるピムコの資産運用マーケットの知見を活用し、最適な運用商品と投資タイミングを提示。

- 2) コントロール可能な運用コストを削減し、運用効率を向上させる。

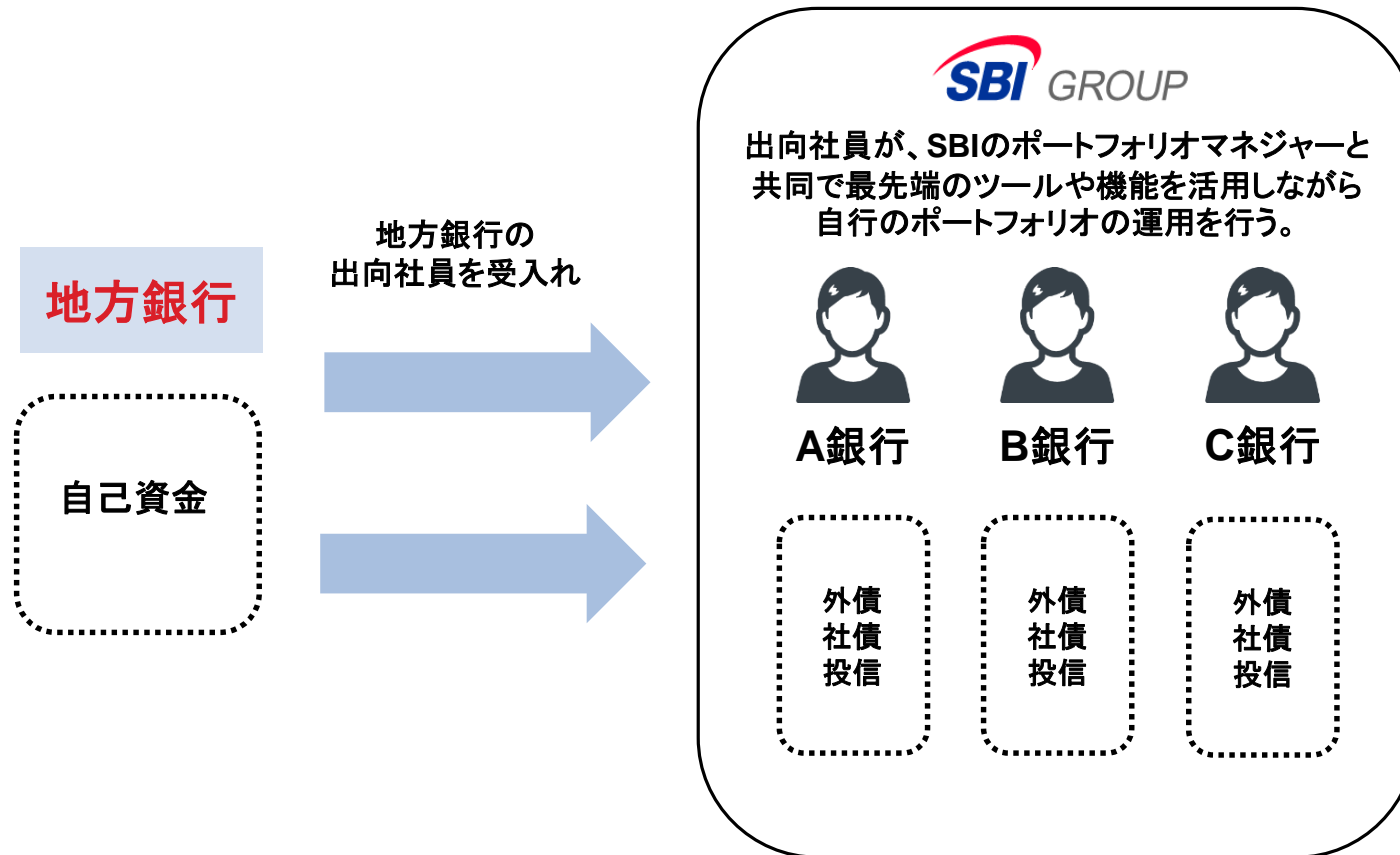
 ⇒ SBIグループのリソースを活用し、為替ヘッジコストや信託報酬を削減。

- 3) 有価証券運用の多様化・高度化に対応したリスク管理と人材育成を図る。

 ⇒ ポートフォリオの再構築と各資産クラスの運用とリスク管理を当社グループのポートフォリオマネジャーと一緒にハンズオンで行い、運用の人材育成をサポート。

有価証券運用の体制強化のサポート

当社のポートフォリオマネジャーと各金融機関の運用担当者が共同でその金融機関のポートフォリオ運用を行い、ハンズオンで運用の人材育成を図る



当社グループ受託のポートフォリオの変更事例

- ・ インカムゲイン重視のポートフォリオに入れ替え、安定的な利息収入を確保
- ・ 信託報酬や為替ヘッジコスト等のコストを削減して、インカム利回りの大幅改善に貢献

＜従来のポートフォリオ＞

	銘柄種類	構成比 (%)
インカム重視	外債	50
キャピタル重視	バランス	15
	その他 (株式、オルタナ、ベア型)	35
ポート合計		100

インカム利回り (%)	うち信託報酬 (%)
-0.55	0.55
-0.22	0.34
-0.36	0.36
-0.31	0.38

インカム利回りの
1.42%の改善

信託報酬の
0.24%の削減

＜入替後のポートフォリオ＞

	ファンド名	構成比 (%)
インカム重視	米国地方債(変動化)	15
	米国社債	10
	デンマークカバードボンド	50
	スウェーデン通貨建て日本債	25
ポート合計		100

インカム利回り (%)	うち信託報酬 (%)
1.30	0.15
0.94	0.29
1.36	0.12
0.58	0.13
1.11	0.14

Part 4

当社の収益指標と株価

モーニングスターの収益指標

<過去10年の営業利益増益率> (10年:2009年3月末~2019年3月末)

モーニングスター	東証1部	東証ジャスダック
5.1倍	80.7%	73.0%

<ROE> (2019年3月期)

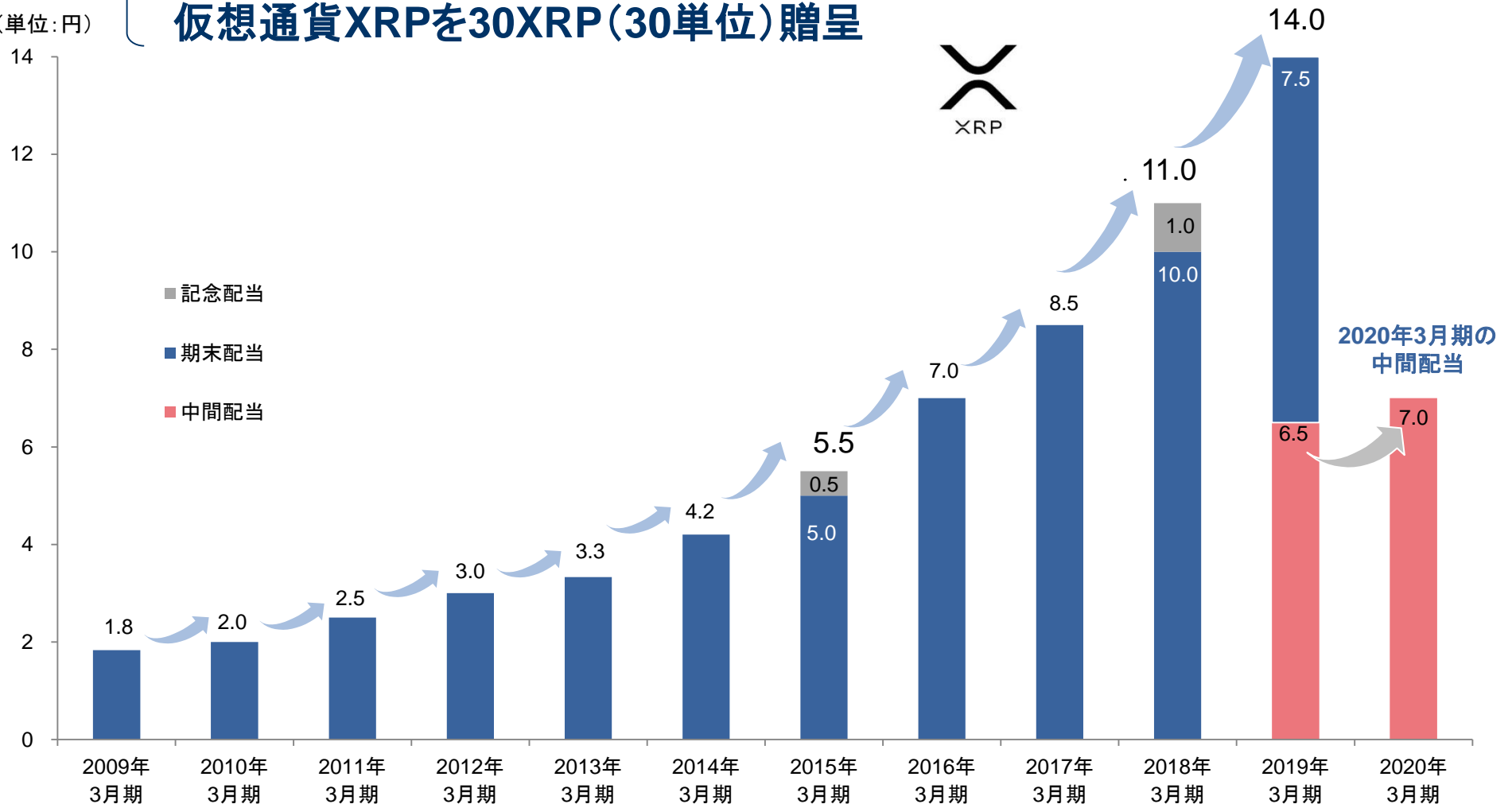
モーニングスター	東証1部	東証ジャスダック
12.8%	9.3%	8.4%

※ 純利益増益率は19年9月中間期決算企業対象
 ROEは実績値、黒字企業を対象
 出所:モーニングスター作成

株主配当の推移

- ・2019年3月期迄に10期連続の増配を実施
- ・2020年3月期の中間配当は、前年中間配当から増配を実施
- ・2020年3月期の中間株主優待は1単元(100株)以上を保有する株主に、仮想通貨XRPを30XRP(30単位)贈呈

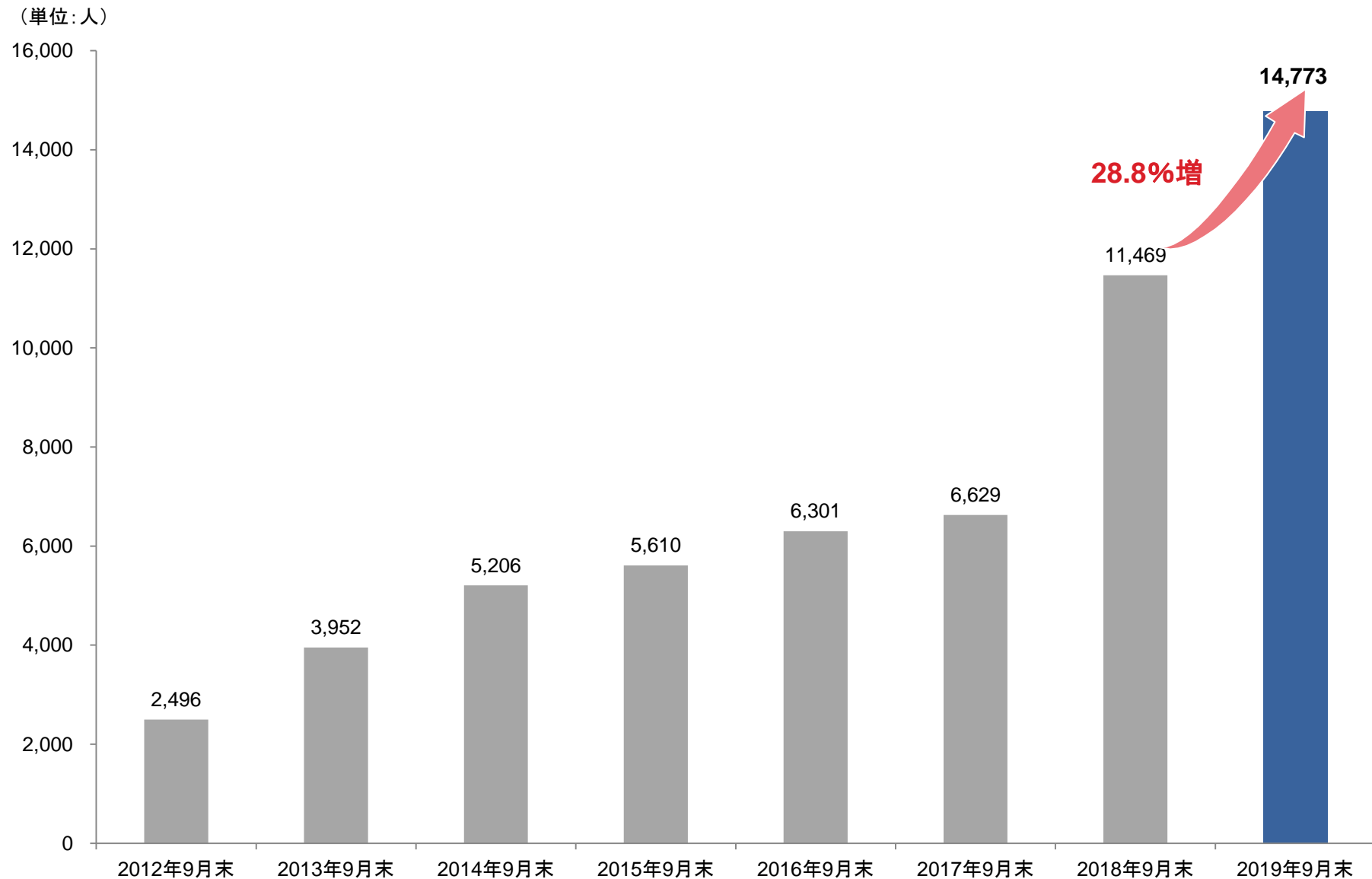
(単位:円)



(注) 2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当であります。
2018年3月期記念配当は、設立20周年記念配当であります。

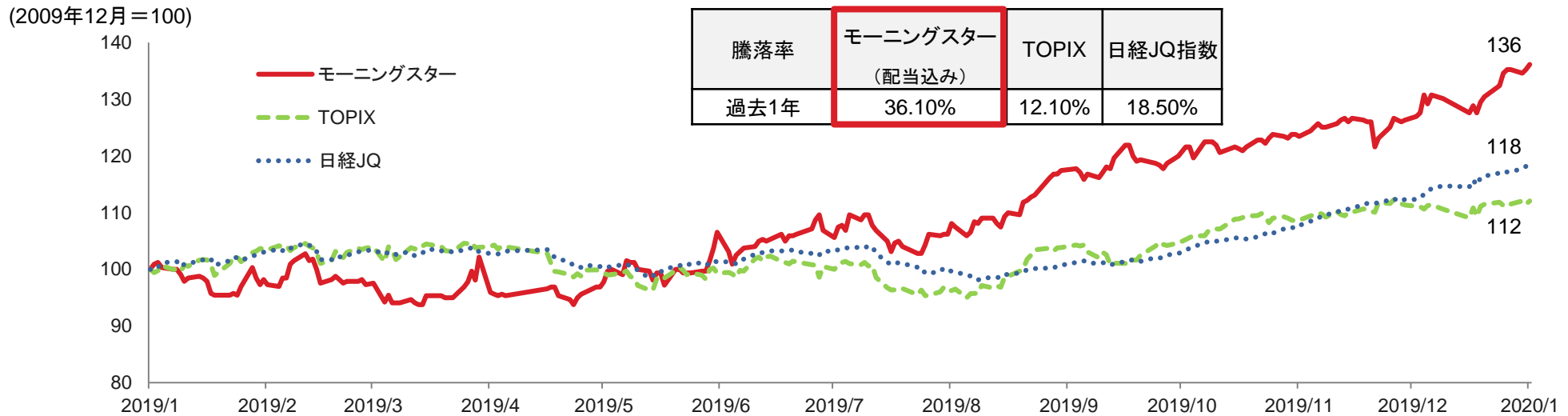
株主数の推移

株主還元を積極的に取り組み、株主数は前期比 3,304人(28.8%)の増加

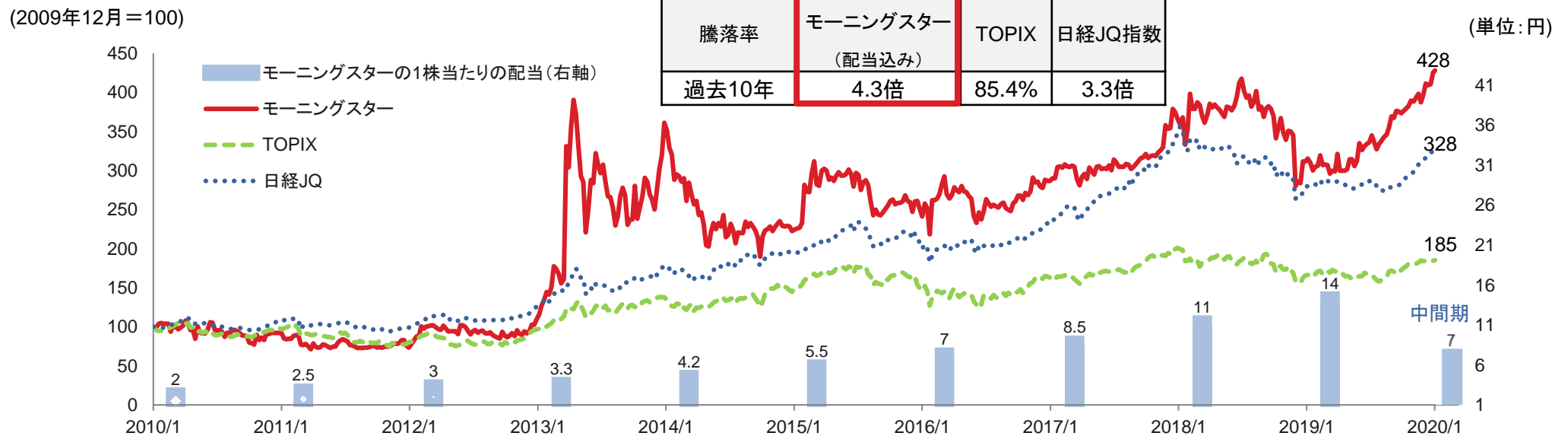


モーニングスターの株価推移

＜過去1年(2019年12月28日～2020年1月22日)の推移＞



＜過去10年(2010年1月22日～2020年1月22日)の推移＞



※ 出所: モーニングスター作成。モーニングスターは配当込み